

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公表番号】特表2011-520190(P2011-520190A)

【公表日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2011-507690(P2011-507690)

【国際特許分類】

G 06 T 3/00 (2006.01)

【F I】

G 06 T 3/00 200

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月21日(2012.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

1対象物の画像における所定の位置を同一の対象物の別の異なる画像中において正確に特定することが必要な場合が数多くある。これらの画像は、異なるタイプの画像（例えば、X線、写真、線画、地図、衛星画像など）、異なる視点から撮像された類似タイプの画像（例えば、カメラの異なるアングル、回転、焦点距離、またはオブジェクトと焦点面の関係）、異なる時点で撮像された類似画像または異なる画像、またはこれら全ての組み合わせなどである。本明細書で説明する技術は、このような画像タイプ、または3次元空間の画像をキャプチャおよび提供する画像タイプ（例えば、多数の2次元スライス画像を使用するCATおよびMRI）、または2次元画像から3次元のレンダリングを生成する他の画像タイプ（例えば、現在、眼科の画像比較において代表的に使用されているような立体スライド、または今日のエンターテイメントの分野で使用されているような「3次元」技術など）と共に使用されるものである。また、前記画像タイプには、個々の画像（2次元または立体画像）から成るビデオおよびフィルムも含まれる。

現在、このような画像の上述したマッピングを達成するための選択肢は限られている。利用者は、（1）様々な視覚的および直感的手法を使って推量、（2）数学的手法を使って推量、または（3）コンピュータによる画像モーフィング法を使って前記画像をアラインメントし、さらに、例えば、工学および天文学などの他の数多くの学問分野で変化や運動を特定するために使用されるフリッカ・クロノスコープ検査法（flicker chronoscopy）を使って前記画像を重ね合わせる。これらの技術は各々、正確性が比較的低い、遅いまたは時間が掛かる、高度な技術または専門知識を必要とする、非常に誤差が起きやすいなどの重大な欠点がある。従って、このような欠点のない改良技術が望まれている。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0004】**

【特許文献1】 米国特許出願公開第2005/0094858号明細書

【特許文献2】 米国特許出願公開第2007/0127787号明細書

【発明の概要】**【課題を解決するための手段】**